

進捗報告書（実行団体）

事業名:	(仮称) 人吉マンガ図書館を作り復興支援
資金分配団体:	一般財団法人日本未来創造公益資本財団
実行団体名:	特定非営利活動法人熊本マンガミュージアムプロジェクト
実施時期:	2021年4月～2022年2月
事業対象地域:	熊本県人吉市・合志市
事業対象者:	熊本県人吉市 まち・ひと・しごと総合交流館 ・熊本県在住の障がい者

Version 1.2

日付: 2021年9月30日

I. 事業概要

事業概要
令和2年7月豪雨被害にあった人吉市への復興として、人吉市まち・ひと・くらし総合交流館へマンガ図書館を設立し、中心市街地の復旧・復興と併せ街並み再生と賑わい創出に貢献したいと思っております。マンガ10万冊の内5000冊の整理整頓・リスト化、正本・複本化についてはコロナ雇止め等雇用が不安定な障がい者の方へ雇用を提供し、人吉市への発送の後、寄託できる本については九州一円の希望した施設（南阿蘇村 地獄温泉青風荘・大牟田市 大牟田マンガ図書館・南関市セキアマンガ図書館・唐津市少女まんが館Saga）へ寄託の発送を行い、新型コロナウイルス感染拡大の為遠方へ外出できない方々へ娯楽を提供したいと存じます。

II. 進捗報告の概要

総括
熊本県がまん延防止等重点措置に指定された為、人吉市がマンガ図書館オープンを9月から11月に延長した件以外は、想定以上に進行している。記事が新聞に載ってから、熊本県観光交流政策課が進めるKumaラボの人吉・球磨観光拠点の一つとしてマンガ図書館を取り上げる他、熊本県・熊本大学・熊本日日新聞社・くまもとDMCと「くまもとマンガ協議会」を開き今後の活動範囲を広げる波及効果を得た。また、障がいを持つ方へ就労機会を提供するという目的も果たしており、現在4名勤務、今後は特に就労希望が多かった女性の方が働きやすい女性専用作業所を拡張する予定である。

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
人吉市にマンガミュージアム設立（3,000冊規模） 10万冊のうち5,000冊の整理整頓・リスト化・正本・副本化	11月オープンに向けて準備段階に入っている。8月26日に人吉市職員が合志マンガミュージアムを視察し、現在搬入予定のマンガタイトルの精査、設置棚の作成段階に入っている。 整理整頓5,000冊に対し男女別、出版社別、レーベル別分類完了は2,000冊（40%） リスト化3,000冊については90%。分類・整理セット作りは100%。 発送3,000冊の準備は完了している。

活動	進捗状況	概要
・蔵書10万冊マンガの整理整頓 ・マンガのリスト化 ・アーカイブ保存用の正本・複本 ・余剰マンガのリスト化（寄託用マンガ） ・人吉市役所と人吉市 まち・ひと・くらし総合交流館へマンガ図書館オープンの諸手続き ・人吉市 まち・ひと・くらし総合交流館への発送手続き・梱包 ・寄託先の選定 ・寄託先への発送手続き・梱包	計画通り	マンガ整理作業が週1,000冊、月4,000冊ペースで進み、当初想定以上に整理整頓が進んでいる。 マンガ図書館オープンが11月に延期になった理由は、当初は8月に人吉市から合志マンガミュージアムに視察を行い設置する本棚のイメージを固める予定だったが、コロナの影響で一月以上視察が遅れた。その結果くまりの本棚発注が遅れたのが遅延理由となる。 作業希望の障がい者が1カ月で20人超の募集があり、作業場所の増加を図った。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>人吉市 まち・ひと・くらし総合交流館（くまりば）へマンガ図書室オープン後（3000冊）は、九州一円で希望された施設（南阿蘇村2,000冊・大牟田市1,000冊・水上村500冊・南関市3,000冊）へのマンガ寄託事業を行いマンガを通じた地域コミュニティの構築を実施する。また、熊本県観光交流政策課が進めるKumaラボ コンテンツラボに協力し、熊本一円の観光交流の一役を担う。その作業を円滑に行うための整理整頓・リスト化、正本・複本化を障がい者への仕事とし、障がい者への雇用確保・働き甲斐を提供します。</p> <p>また、災害マンガセットを整備し、被災地の避難所に娯楽を提供できる準備は整ったが、本年度は提供意思を示したが受け入れ先がなかった。今後はニーズがある被災地に提供できる準備を怠らないようにする。</p>	

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥11,000	¥10,374,000	¥10,385,000	¥3,562,831	34%
	管理的経費	¥480,000	¥1,505,000	¥1,985,000	¥684,099	34%
合計		¥491,000	¥11,879,000	¥12,370,000	¥4,246,930	34%
補足説明		<p>低くなっている原因は、作業所の障がい者スタッフの人員確保、及び一人当たりの月間作業時間が予定より少なかったため。下期は作業所を2か所体制（男性用・女性用）にすることで雇用を拡大し、100%達成を予定しております。</p>				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/障害要因とその対応
<p>こちらが当初想定した人数以上の求人希望があり、男女別で作業所を増設する必要に迫られた。また当初は障がい者雇用の受け皿として展開したが、コロナ禍により更に就業機会を奪われた高齢者、8050、長期ひきこもり、労働時間が制約されるシングルマザーなどの引き合い相談がある等、雇用を求めている方が幅広い事を知った。その受け皿になるには作業所、賃金等の環境整備が必須である。吉報としてはマンガを観光資源にする土壌が熊本県にあり、官・学・民の協力が得やすく、アフターコロナに想定されるインバウンドの聖地巡礼ニーズを今のうちに整備すべき事を知った。そのためにはマンガだけではなく、アニメーション、ゲームなどのコンテンツを有する他団体と協業する必要性を感じた。</p>

VII. その他

自由記述
<p>アニメーション、ゲームなどのコンテンツを有する他団体は九州に限定すると情報ソースが限定される。将来は全国で活動する事を視野に入れる必要がある。</p>

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	<p>2021年4月18日 「漫画本親しんで」 熊本日日新聞 学童保育へマンガ本寄託</p> <p>2021年4月26日 「マンガの力で被災地 元気に」 熊本日日新聞 人吉市の復興支援</p> <p>2021年8月27日 「マンガ県くまもと」 推進へ 熊本日日新聞 企業や自治体の連携</p>
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	